

子育て・教育

分類(出所)	番号	分類	項目	ご意見の内容	ご意見に対する市の考え方
パブコメ (意見交換会)	1	子育て・教育	安心して子育てできる環境づくり	子ども達の遊び場の確保。土日の学校運動場→地域住民の見廻り	子どもの遊び場の確保については、身近な公園や広場の再認識につながる事業や、親子でともに参加できる遊びの機会の創出などに取り組んでいきます。また、本市の子育て支援の拠点となる、雨の日でも親子で遊ぶことの出来る子どもプラザの整備に向けて取り組んでいきます。 また、安全に遊ぶためには、地域の方々の見守りが欠かせないと考えておりますので、関係団体の御協力を得て、子どもたちへの見守り活動の充実を進めます。 なお、学校長の判断により学校運営に支障がない範囲で、小学校の運動場を遊び場として開放することができます。
パブコメ (団体)	2	子育て・教育	安心して子育てできる環境づくり	就労形態が多様化する中、保育ニーズに適切に対応するためには、基本的な保育と併せて特別保育の充実が必要と考える。 特別保育充実のためには、施設等の整備も必要となることから、新制度導入後の保育所への運営支援の内容とあわせて取組を検討したい。 ただし、現行9か所の一時預かり実施園数を平成29年度に15か所とすることは、平成27年度の新制度実施後に各園は判断することを考えると、厳しい目標ではないか。	<ul style="list-style-type: none"> ・中期実行計画中の表現については、現行案どおりとしますが、事業目標の目標値については、平成29年度に15か所としているところを、平成29年度に12箇所と修正します。 ・今後の、特別保育の充実については、新制度後の本市の保育園の体制や運営支援のための制度内容とあわせて、保育連盟と連携して取り組んでいきます。
パブコメ (団体)	3	子育て・教育	安心して子育てできる環境づくり	現行の5施設はいずれもそれなりの利用実績が上がっており、病児病後児保育の充実は、本市の子育て支援の特徴となっている。隣接市の利用も受け入れており、隣接市も含め、広域においても子育て支援に貢献している。必要に応じて、施設の充実に向けた取組は必要と考える。 今後、病児病後児保育事業を受託している小児科も、医師の高齢化など、状況が変わってくる。今後も、状況を見ながら、適切な時期に、小児科へ事業受託についての投げかけが必要。	<ul style="list-style-type: none"> ・中期実行計画中の表現については、現行案どおりとします。 ・今後の、実施施設の増設については、地域性などを勘案し、宇部市医師会や小児科医会と連携して取り組んでいきます。
意見交換会 (1回目)	4	子育て・教育	安心して子育てできる環境づくり	恩田校区の学童保育について、周囲が道路に囲まれていて子どもの遊ぶ場所がない。 子どもが外で運動したり遊べる環境を整えてほしい。 子どもを預かるだけでなく、どういう形で過ごさせているか過ごしているかという教育の環境をきちんと考えてほしい。	学童保育については、利用児童数の状況を確認しながら、既存施設の活用を第一義的に、調整のついた会場の施設整備に取り組んでいます。また、活動の時間や内容についても充実に取り組んでいきます。
意見交換会 (3回目)	5	子育て・教育	安心して子育てできる環境づくり	支援が必要な母子が安心して子育てするには市営住宅ではなく、きちんとした施設で長期的な支援が必要と考える。 施設があれば、運営のノウハウを持っているので適切な支援ができる。 母子支援施設の建設をお願いしたい。	本市の母子生活支援施設については、その老朽化と実態に沿わない施設設備の形態から利用者も減り、平成25年4月から休園中です。母子世帯の自立支援について、緊急一時的には市外及び県外の母子生活支援施設や、近隣の児童養護施設の活用等により安定した生活につなげるための支援をしていきます。
パブコメ (意見交換会)	6	子育て・教育	学校教育の充実	私自身は西岐波校区で昨年(H25.9)に立ちあがった子供みまもり隊に参加して、現在まで実施させていただいております。これからも実施させていただきます。	見守り活動に御協力いただき、ありがとうございます。 「学校教育の充実」(P80)の「通学路安全対策事業」において、児童の通学路の安全確保に取り組んでいますが、関係団体との連携が必要と考えています。
意見交換会 (1回目)	7	子育て・教育	学校教育の充実	学びの創造推進事業は宇部市教育振興基本計画の中で大きなウェートを占めているが、中期実行計画ではどういう位置づけになっていますか。全面的にあげてほしい。 (事業として中期実行計画(概要)に明記されていないが、後ろ向きの印象を受けるのではないか)	「学校教育の充実」で、「学力向上事業」の個別事業として「学びの創造推進事業」に取り組んでいきます。 教育振興基本計画の事業として、整合を取っていきたいと思います。

子育て・教育

分類(出所)	番号	分類	項目	ご意見の内容	ご意見に対する市の考え方
意見交換会 (1回目)	8	子育て・ 教育	学校教育の充実	銀天街にあるまちなか環境学習館では学生がたくさん勉強している。教育環境が大事なので、空き教室や空き家を活用するなど、子どもが勉強する環境を整備したらどうか。	余裕教室は、少人数指導や個別指導、コミュニティ・スクール等の活動に使用し、学習活動を推進しており、学校の図書室等を自習スペースとして活用を図っています。
意見交換会 (2回目)	9	子育て・ 教育	学校教育の充実	青少年会館の利用者が少ないようなので、利用しやすいように整備してはどうか	今後子供たちを対象とした講座の充実や学習できるスペースを整備するなど利用が増えるような取組みをしていきます。
その他(市 外政策提 言)	10	子育て・ 教育	学校教育の充実	「学校教育の充実」という施策はソフト事業のことですか？ハードはたくさんあると思いますが。	「学校教育の充実」の主要事業は、学びの創造推進事業などの学力向上事業、ICT活用教育に関する指導力向上する事業、いじめや不登校、問題行動等の課題に対応する学校安心支援推進事業及び施設整備を伴う通学路安全対策です。学校施設におけるハード事業は、「学校施設の耐震化の推進」(p118)において取り組みます。
パブコメ (意見交換 会)	11	子育て・ 教育	学校教育の充実	「学びの創造推進事業」も7年目を迎えて成果が出てないことも否めないが、教育振興基本計画の柱のひとつでもあるので、もう少し前面に押し出していただきたい。	本市では、学校教育重点目標を「子どもの学びと育ちを保障する教育の推進」とし、その中核に「学び合いのある授業(協同的学び)」を据えています。各学校では授業研究を中心とした校内研修会が活発になり、子どもたちは小グループでの学び合いを肯定的にとらえています。また、平成25年11月に実施した「宇部授業の日」では、市内6小中学校の公開授業研究会に市内の教員約800人が参加しました。今後も「学びの創造推進事業」を推進する中で、授業研究会を通して教員の専門性を更に高めるとともに、小中学校の連携の深化を図ります。
パブコメ (意見交換 会)	12	子育て・ 教育	国際社会に貢献 できる人材養成	中期実行計画に宇部市の海外との交流について取り入れてほしい	宇部市と海外との交流については、『国際社会に貢献できる人材養成』(P84)における「青少年国際交流事業」(P85)、『大学生等が住みやすく学びやすい生活環境の整備』(P134)における海外からの留学生と市民との交流を促進する「留学生支援事業」(P135)、『シティセールスの推進』(P70)における外国都市等との交流を通じた本市の情報発信により取り組んでいきます。
パブコメ (意見交換 会)	13	子育て・ 教育	学校と 地域社会 の連携	子育て・教育に重点をおき、人材育成と地域連携を図る。	子育て支援を進めていく上で、支援者の養成やスキルアップ、市民や地域と連携しての取組みは重要であり、施策を推進していく中で、ご意見を参考にさせていただきます。また、幼稚園や学校教育においては、家庭教育学級や放課後子ども教室を継続して実施するとともに、「学校と地域社会の連携」(P86)の「学校地域連携事業」において、地域の人材を活用した学校教育・社会教育の取組を進めます。
パブコメ (意見交換 会)	14	子育て・ 教育	学校と 地域社会 の連携	学童保育施設を含めた、子育て環境の充実を要望します。(26P) 屋外で、グループ体験活動やスポーツ等により「自らを律し、協調できる」能力を育成する場を準備してほしい。	学童保育については、利用児童数の状況を確認しながら、施設の整備に取り組めます。また、活動の時間や内容についても充実に取り組んでいきます。地域で行う放課後子ども教室ではグループの体験活動やスポーツを行っております。今後地域と協働して全ての小学校区で実施できるよう拡充を図っていきます。
パブコメ (意見交換 会)	15	子育て・ 教育	学校と 地域社会 の連携	放課後の教育環境の充実を要望します。(26P) まちなか環境学習間の運営実績などから、特に受験生の勉強の場がないように思われる。	青少年会館の一部を学習ができるスペースとして整備していきます。学校の図書館等を自習スペースとして活用を図ります。図書館の学習スペースの更なる充実を図ります。
パブコメ (意見交換 会)	16	子育て・ 教育	学校と 地域社会 の連携	地域の隣近所のつながりが、子ども達を地域の子どもの子どもとして育てていくことだと思う。	「子どもすくすく条例」に規定するように、子どもの健全育成には保護者と行政だけでなく、市民、学校等、子育て支援団体及び事業者も、それぞれの役割に応じて、協働して取り組まなければなりません。今後も、地域や関係団体と連携し、「放課後子ども教室」などを通じ、子どもたちの健全な育成に向けて取り組めます。
パブコメ (意見交換 会)	17	子育て・ 教育	学校と 地域社会 の連携	放課後子ども教室。青少年会館を解放し何時でも行けそこに行くと昔の遊び。例えば、コマ、竹馬、竹トンボなど・・・作り遊ぶ 休みを利用	放課後子ども教室では竹細工などの工作や昔遊びなども行っておりますので、一層の拡充を図ります。また、青少年会館では、科学実験や華道教室などの子どもを対象にした講座を行っていますが、今後工作なども取り入れた講座なども実施していきたいと考えています。

子育て・教育

分類(出所)	番号	分類	項目	ご意見の内容	ご意見に対する市の考え方
パブコメ (意見交換会)	18	子育て・教育	学校と地域社会の連携	子どもが少ないのか、外で遊んでいる状況をあまり見かけない。 学校での食育も大切であるが、歩いて自然や社会に触れ、五感を開き、体で学ぶ直接体験を通じて子どもたちの豊かな心、生きる力を育てる基礎教育、すなわち歩育を積極的に取り入れてほしい。	子ども会、体育振興会等の地域コミュニティ団体と連携して、子どもたちが地域で気軽に様々なスポーツ・レクリエーション活動やグループ行動に参加・体験できる機会の充実に努めるとともに、新たな総合型地域スポーツクラブの設立の促進、活動の支援を行い、子どもたちの体力の向上、基本的な生活習慣の確立や仲間との協調性、社会性を身につけられるよう、スポーツを通じた子どもの健全育成を推進します。
意見交換会 (2回目)	19	子育て・教育	学校と地域社会の連携	「学校と地域社会の連携」と文化振興について、宇部志民大学を卒業し、地域の名勝を先生に教育することに携わり3年になるが、先生と地域の教育がたち切れになっていると感じる。どうなっているか。	「地域資源とふれあう教育の推進」(P110)と連動して、地域資源や文化伝統を学校教育や社会教育に生かす取り組みを進めます。
意見交換会 (2回目)	20	子育て・教育	学校と地域社会の連携	「子育て・教育」と健康に関して、心が健康でなければならない。人と人との関わりの中で心を育てられる環境が必要だと思う。先日体協主催で行われたペップトークのセミナーに参加したが、スポーツでも日常生活でもやる気を引き出す声掛けが大事であり、学校の先生やスポーツ関係者などでこのような話を語り合えるようにしたらいいのではないか。	「学校教育の充実」(P80)で、「学力向上事業」の個別事業として校内研修を活性化し、教員の資質向上に取り組んでいきます。 スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブの育成・設立支援、学校体育施設の開放促進、子ども向けスポーツ教室の充実等により、多種多様なスポーツ活動への参加の機会を広げるとともに、子どもが参加できるスポーツ活動・場所等の情報提供の充実に努めていきたいと考えています。
意見交換会 (3回目)	21	子育て・教育	学校と地域社会の連携	学校と地域社会の連携について 学校教育だけではバランスのいい人間形成はできないのではないか。 行政と教育委員会の姿勢が違うのではないか。 教育委員会と連携し、地域で子どもを育てる雰囲気醸成してほしい。	地域の方々の力を借りて放課後子ども教室を実施しています。 平成25年度から全小中学校で取組んでいるコミュニティ・スクールにおいて、地域の創意工夫を活かした特色ある学校づくりを進め、地域に開かれた信頼される学校づくりの取組を推進します。
意見交換会 (3回目)	22	子育て・教育	学校と地域社会の連携	趣味で蛾を採集している。 子どもたちを対象に昆虫、動物、鳥類の学習を取り入れていただき、自分たちを活用していただきたい。	学校教育活動支援ボランティアへの登録をお願いしたい。 これまで、水生生物や野鳥の観測会をとおして、子供たちが自然とふれあえる場を提供しています。今後も子供たちをはじめ、より多くの方に自然環境について、関心を持っていただく企画を提供していきたいと考えています。
意見交換会 (2回目)	23	子育て・教育	学校と地域社会の連携	見守り隊が各校区にできたと聞いているが、それ以降の活動をまとめたものなどを知りたい。	現在、全24小学校区において、見守り隊がそれぞれの地域の実情に合わせて、交通安全、防犯に関する活動に取り組んでおられます。それぞれの活動の状況につきましては、市民活動課で情報収集します。
パブコメ (意見交換会)	24	子育て・教育	学校と地域社会の連携	学校と地域社会の連携について 目標値の倍以上の実績で一見素晴らしいように見えますが、実態を伴っていますか。現状をしっかりと把握していただき、新たな施策を考えていただきたいと思えます。 (前期検証)	ボランティア登録者数は目標値を上回っており、活用回数も年々増加していますので、一定の成果があったと考えています。今後は、コーディネーターを活用して学校の要望に応じた支援活動の充実に図っていききたいと考えています。
パブコメ (意見交換会)	25	子育て・教育	発達障害児等の教育環境の整備	発達障害児の理解度。講座開催により少しは理解されたと思われるが、一部の人だと思ふ。地域で生活している子ども達なので、近所の人達に解ってもらうことが大切だと思ふ。	順次計画的に支援ボランティア養成講座を開催し、着実に地域の理解者を増やすとともに受講者が中心となって地域に理解が浸透するよう、取り組んでいきます。